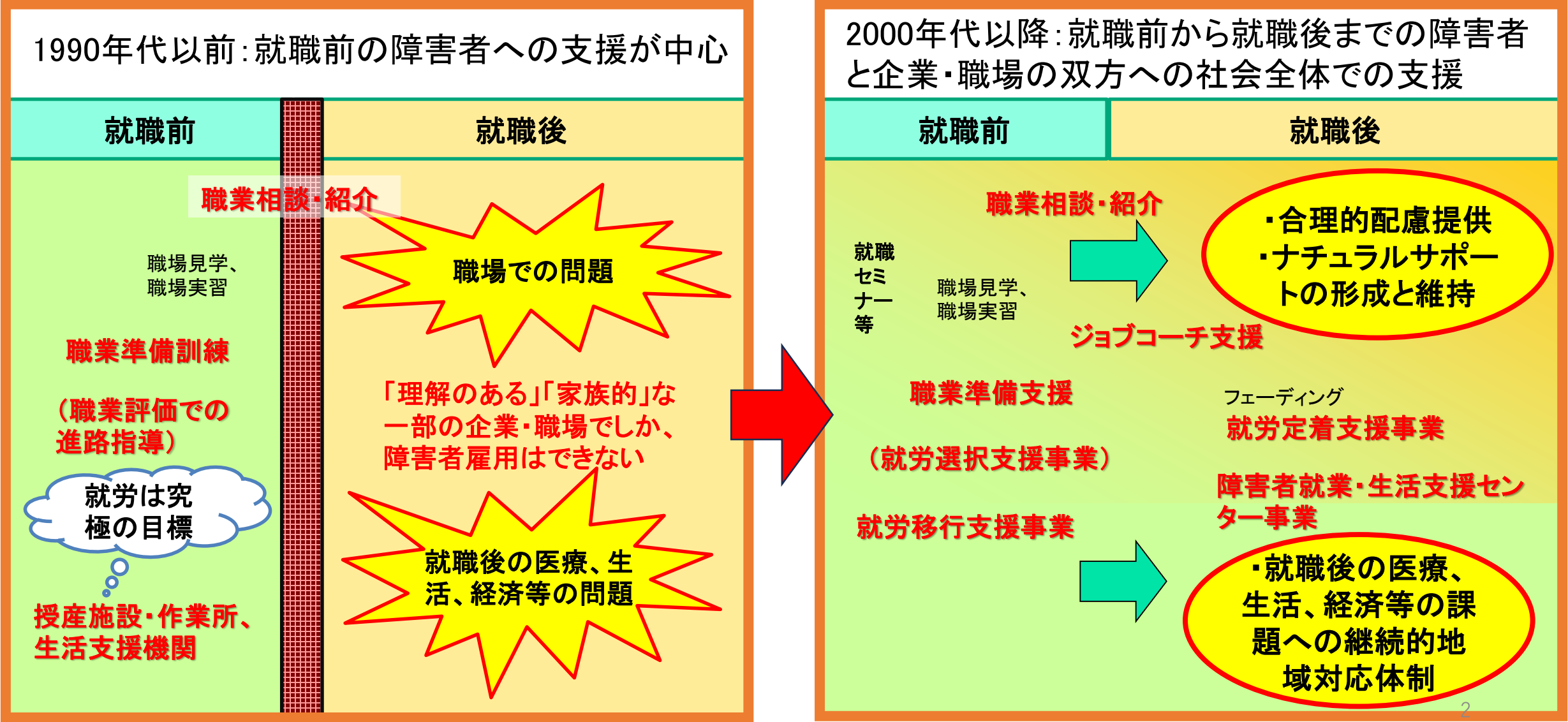


パネルディスカッションⅡ
障害者就労支援を支える専門人材を育てる
～福祉と雇用の切れ目のない支援に向けて～

障害者就労支援の人材育成の課題の整理
～最近の調査結果を踏まえて～

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター
春名 由一郎

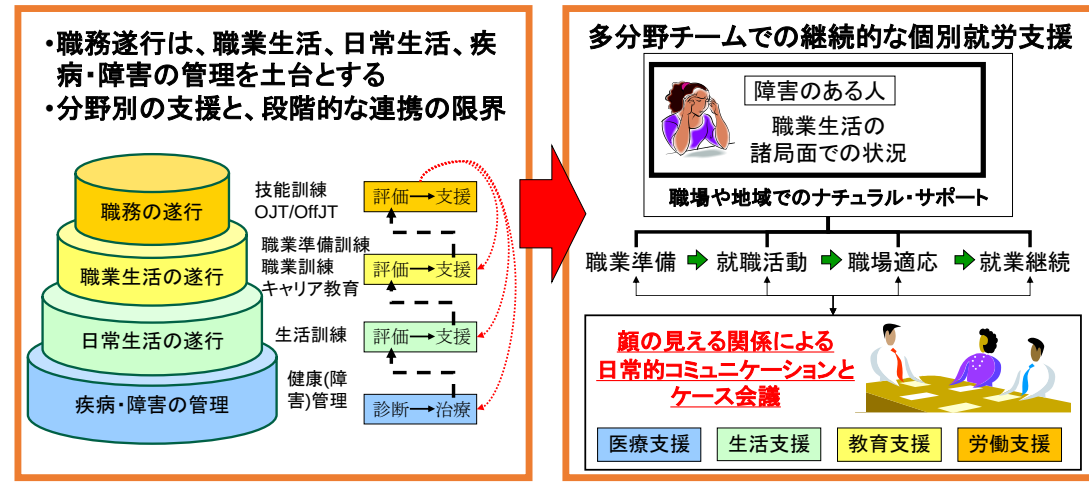
障害者就労支援の基本的枠組みの変化と、人材育成の課題



現場の就労支援人材育成の取組のバラつき

現場では、人材育成の時間も資源も限られている！

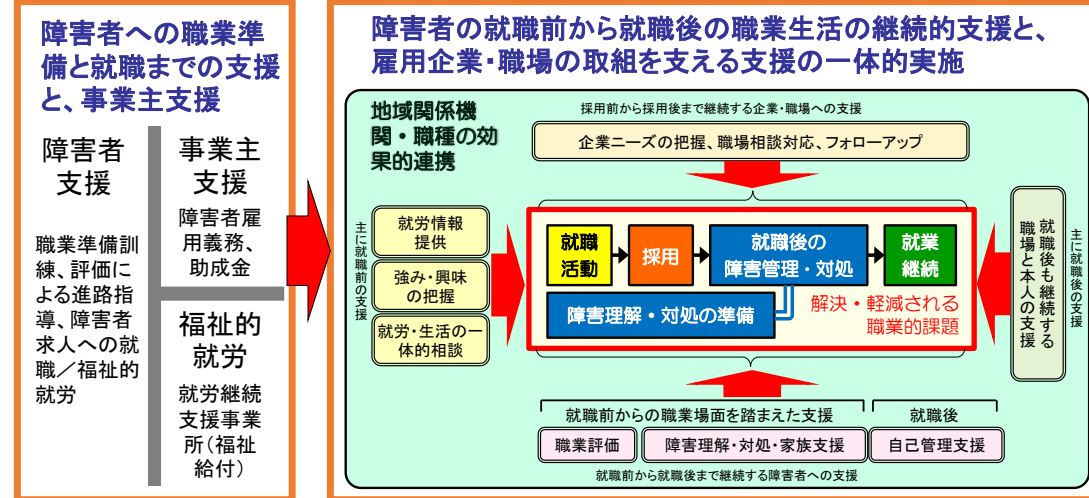
多職種チームでのケースマネジメント支援



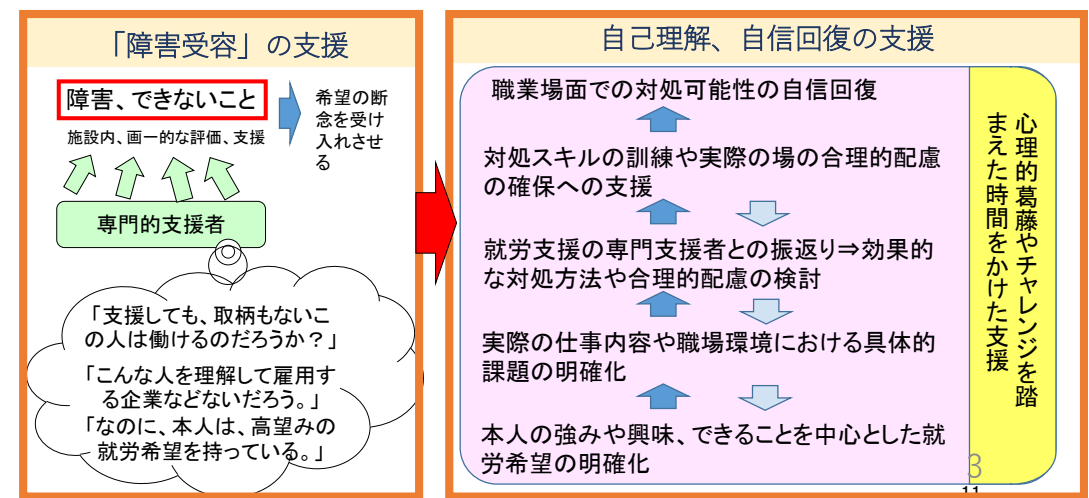
地域の企業や関係機関との共通基盤づくり

就労支援の課題	地域での就労支援困難状況		問題解決につながる効果的な就労支援の特徴
	支援	問題状況	
就職前	●職場適応や職業自立のために、体調や生活面の自立が大前提 職業評価と進路指導・職業選択	●職業準備性が整わない／企業の理解がない ●本人や家族が企業就労を必ずしも希望しない	●本人の対処スキルと職場の合理的配慮提供の双方の支援 ●治療や生活と仕事の両立
就職時	●就労支援で就職の実績が重要 ●企業は法定雇用率の達成が重要 就労移行支援／企業の雇用義務	●「障害者向き」の職業への選択肢の限定 ●雇用義務達成のための企業負担	●強み・興味を活かす就職活動と人材採用・活躍の支援 ●障害や疾病のある人の夢の実現やキャリア発達
就職後	●職業人として本人の自己管理と自立が前提 ●企業の雇用管理や配慮の社会的責任 障害者と家族等の努力／企業の障害者雇用義務／就労定着支援	●就職後の体調悪化、生活や家族の課題、仕事内容や職場状況の変化等による職場不適応や離職 ●雇用管理が困難な障害の増加と、障害者雇用の質の向上の課題	●適正な雇用関係での企業や経済への貢献 ●誰もが暮らしやすい共生社会の実現

障害者と企業・職場の双方へのジョブコーチ等の支援



障害者の自己理解と自己効力感の支援



従来、「OJT」や「現場での体得」が重視されてきている 専門知識・スキルの具体的内容

多職種チームでのケースマネジメント支援

- 支援の目的を明確にした共感的態度と協働的相談
- 多様な関係者の考え方等を尊重した関係づくり
- 個人情報保護を踏まえた関係者での情報共有
- 利用者の性格や特性に合った相談方法の工夫
- 多様な相手の立場やニーズを踏まえた分かりやすい説明
- 分かりやすい記録・伝達
- 支援計画策定と定期的モニタリング

障害者と企業・職場の双方へのジョブコーチ等の支援

- 職場での仕事の手順習得と職場適応、職場理解の促進の支援
- 障害者本人のニーズに合った職場見学・職場実習の支援
- 事業主への障害特性や雇用管理のポイントの説明
- 関係機関との連携・調整、チームでの就労移行支援
- 継続的なフォローアップやキャリアアップ支援
- 仕事内容や職場環境のアセスメントと職務再設計・創出支援
- 各職場の文化やルールに適応できるための支援
- 障害者本人と事業主の話し合いによる合理的配慮提供の支援
- 退職、休職・復職の支援
- 障害の開示・非開示、障害や必要な配慮の説明の支援
- 職場のナチュラルサポートの形成と維持のための支援

地域の企業や関係機関との共通基盤づくり

- 企業や関係者への障害者雇用の理解促進のための情報提供や働きかけ方等
- 各地域の企業経営や労働市場の動向把握
- 支援機関の間での情報交換やノウハウ共有等
- 地域の社会資源の情報収集とネットワークづくり
- 各企業の状況を踏まえた情報提供や支援
- 支援事例や支援知識の継続的学習の機会確保
- 仕事と余暇や日常生活の両立相談支援

障害者の自己理解と自己効力感の支援

- 障害者本人の自己理解を促進する支援
- 作業遂行・対人・生活面の課題と必要な配慮等の整理
- 就労意欲や障害についての本人の考えの整理の支援
- 障害者本人の社会生活や職場での役割や周囲との関係の理解
- 生活・人生設計の相談

専門人材としてのやりがいの向上

- 効果的な就労支援を実施できる各支援機関の組織体制の整備や、各支援者の知識・スキル等の向上は、支援者の就労支援のやりがいを高める
 - ⇒ 「自分の支援は障害者の役に立つ」
 - ⇒ 「自分の支援は障害者を雇用する企業の役に立つ」
 - ⇒ 「支援において自分の能力・知識・経験を発揮できる」
 - ⇒ 「支援において自分自身が成長することができる」
- 障害者就労支援の専門性の社会的評価を実感できるのは、他の支援者との事例検討ミーティング等の機会

効果的な障害者就労支援に必要不可欠な知識・スキルを有する専門人材を育成するポイントは？

パネリスト	所属	話題提供
市川 浩樹	障害者職業総合センター 職業リハビリテーション部 次長	福祉と雇用の共通認識を確立する「基礎的研修」 - 就労支援の目的・理念、就職前から就職後の支援、対企業支援、関係機関の連携等 - 研修と演習やグループワークのバランス
堀江 美里	特定非営利活動法人 WEL'S 障害者就業・生活支援センター WEL'S TOKYO センター長兼主任職場定着支援担当	「障害者雇用・就労支援分野のソーシャルワーカー」 - 就労支援の専門職としての基本的な考え方の確認 - 採用や育成、組織としての継続的なバックアップ体制 - グループスーパービジョン等
齊藤 朋実	第一生命チャレンジド株式会社 ダイバーシティ推進部 課長	障害者と企業・職場の双方に益となる支援 - 各人の能力発揮につながる職務設計と職場のナチュラルサポートづくりの支援、職場実習やフォロー体制の支援 - 障害者と職場の調整による合理的配慮提供支援
藤尾 健二	特定非営利活動法人 全国就業支援ネットワーク 代表理事	障害者の職業生活を支える地域の関係機関の共通基盤の構築・維持 地域の関係機関の理解促進とネットワークづくり、各地域の企業等の関係、支援機関の社会資源やノウハウ共有